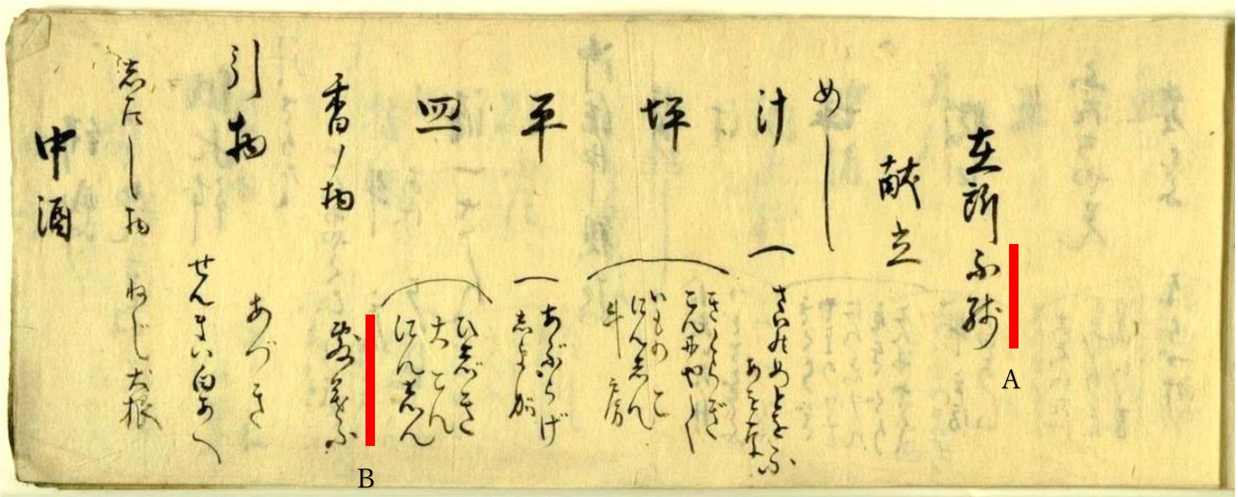
# 福井県文書館　くずし字赤ペン添削講座5

（文書館カウンターにご提出ください）




福井市　岩堀健彦家文書（献立覚）　D0001-00161　当館蔵

難易度★☆☆☆

**解読のヒント**　この古文書は、江戸後期に丹生郡朝宮村の岩堀家で営まれた法事と推測される行事に関するもので、その際に供された御膳の「献立」が記録されています。

一行目からは、この献立の料理が村の人々にも供されたことがわかります。汁物以下の材料が列記してあり、献立の内容はおおよそ推測できます。

うしろから四行目の「あづき」の上にある2文字は「引物」と書いてあり、この御膳の料理以外に別に付けたものであることを示しています。さらに、最終行に「中酒」とあることから、酒も出されたことがわかります。

平仮名は比較的読みやすいですが、赤線を付した2か所（ともに漢字2文字）はやや難しく、読めれば中級者以上でしょう。

↑Bのヒントです。

在所（　　）

（献立）

めし

（　）さいのめ（　）

（　　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）（　）

（　）（　）

引物（あづき）

（　）

（　）（　）

中酒

お名前またはペンネーム

11月30日（土）に文書館専門講座「古代若狭は『御食つ国（みけつくに）』だったのか？」を開講します。文書館カウンターでお申し込みを承ります。